



2021年の夏「木城えほんの郷」は、大地のエネルギーと強い生命力を感じるミロコマチコ絵本原画展「におい、おと、けはい」を開催します。

心と体、五感全部で感じたものを自由に大胆に描く、ミロコマチコさん。

生命のエネルギーにあふれ、自由に生き生きと描かれた絵の世界は、近年ますます原初的で、においや手触りなど五感を刺激し、豊かな色彩が、はてしなく広がっていくように思えます。2019年には自然豊かな奄美大島へと住まいを移し、これまでとは違う時間の流れや環境の中から、どのような作品が生まれるのか楽しみます。

世界中がコロナという目に見えない感染の不安の中にあり、さらにネット社会は進行し、自然からは遠く離れ、人工的な空間に閉じ込められる現代社会。その中であって、木城えほんの郷は、子ども時代になくてはならない、ゆったりとした時の中で、自然にひたり五感全部を使ってさまざまな自然の生命に出会うこと、絵本や昔話のイメージが心の中で響きあうことが大切だと考えています。

ミロコマチコさんの、土や植物のにおいや音、いきものたちの気配、空気までもが身体の中に飛び込んでくるような原初的な生命のエネルギーにあふれた世界をお楽しみください。

また8月8日（日）には、ミロコマチコさんと子どもたちと、えほんの郷の自然との共演、体全部を使い、生命のエネルギーを爆発させるようなワークショップ「よるのいきもの ぞろぞろ」を開催します。



#### ◆展示作品

『ヒワとソウガメ』 作/安東みきえ 2014 佼成出版社

『うそ』 作/中川ひろたか 2014 金の星社

『つちたち』 2015 学研

『けもののおいがしてきたぞ』 2016 岩崎書店

『まっくらやみのまっくら』 2017 小学館

『ドウルジン』 2019 亜紀書房